

# 市民目線で「責任ある政治」を。



## 新聞記事

### 分譲価格を見直し

七尾市 サンタウン万行、販売促進

平成27年 (2015年) 9月16日 (水)

北陸中日新聞 朝刊 16面

分譲地の売却が終わらないサンタウン万行「七尾市万行地区で宅地用などの保留地の約三割が売れ残っている七尾市万行地区土地区画整理事業について、市は分譲価格の見直しを含む指導や組合との協力で販売促進を目指す考えを示した。十五日の市議会一般質問で、山崎智之氏（市民クラブ）の質問に答えた。

同事業は、万行地区三町の地権者が組合をつくって一九九六年に事業着手し、全区画整理事業は1996（平成8）年に始まり、全保留地は6万670平方メートルとなっている。市が市営住宅や万行遺跡として購入した土地を含めて約67%の4万5822平方メートルが売却された。組合は今年度中の事業完了を目指していたが、今月の臨時総会で18年度まで3年間延長することを議決した。

生じた日を含めて14日以内に出生届を役所に提出することになっている。

市によると、2件は母親が市の窓口に出生届を提出した際に判明し、市の窓口での相談や家庭裁判所の手続きを経て戸籍記載となった。市側は答弁で「現時点で七尾で把握している無戸籍者はいない」と述べた。

民法772条2項では「離婚後300日以内に生まれた子は前夫の子」と定められており、戸籍上、前夫の子として扱われるのを避けようとして出生届が出されなかったこととなった。

市側は答弁で、今年度、出生届の提出が遅れたために一時的に無戸籍となったケースが2件あり、解消したことを明らかにした。無戸籍の解消は同市では初めとなった。

者の高齢化が進んでおり、売れ残った場合に負担金が発生する可能性もあることから、販売促進を求める声が高まっている。

販売不振の一因は、平均して約八万円の坪単価。購入希望者は環境より価格を重視する傾向があり、市の担当者は「完売を目指すには、割高な価格の検討や建売住宅とのセット販売など工夫が必要」と話す。

市議会で現状認識を問われた清田裕雄建設部長は、「周辺の宅地と競争できる価格にする必要がある」と答弁。組合の自助努力を求めた上で、「一戸建て住宅の新築などに対する」市の補助金制度活用やハウスメーカーとの仲介など、協力して販売促進に努めたい」と述べた。（鈴木隆一）

### 無戸籍を解消 七尾で初

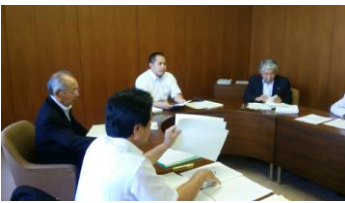
市側は答弁で、今年度、出生届の提出が遅れたために一時的に無戸籍となったケースが2件あり、解消したことを明らかにした。無戸籍の解消は同市では初めとなった。

民法772条2項では「離婚後300日以内に生まれた子は前夫の子」と定められており、戸籍上、前夫の子として扱われるのを避けようとして出生届が出されなかったこととなった。

市側は答弁で「現時点で七尾で把握している無戸籍者はいない」と述べた。

平成27年 (2015年) 9月16日 (水)

北國新聞 朝刊26面



常任委員会審議



戦没者慰霊式典



海の日記念式典



能登議員研修会



毎月の街頭演説



各地域の夏祭り



地域の子ども達と



柔道全国大会表敬訪問

やまざき智之通信 平成27年秋号  
 発行者/山崎智之市政事務所 矢田新町イ6-67  
 TEL/0767-52-1535  
 FAX/0767-58-3322

↑ ネットでも、山崎智之。

七尾市 山崎智之